

## 渡辺広美さん

服飾専門学校卒業後、小物や子ども服を作っていました。友人からもらったアメリカ土産の画材で、既成のTシャツや靴に草花などを描くなど、常に手を動かしハンドメイドを楽しんでいたところ、叔母や祖母、友人知人から着物を譲り受けるように。1年ほど前から着物リメイクをスタートしました。創作のモットーは、着物に手を加えすぎないこと。家族の介護の合間に縫製するので、着物は解かずに元の形を生かす、簡単リメイクを楽しんでいます。



広島県福山市に移り住んだ友人からもらった備後  
絣で A4 サイズが入るトートバッグ。カラフルな持  
ち手はクラフト用に作られた畳の縁を使用



叔母の着物の片袖を残して使い切り、パンツ、上着、ショルダーバッグの  
3点セットに。バッグの肩ひもはリボンで愛らしく



右／父の形見の西陣別織反物で仕立てた作務衣の背には、アメリカ産の画材で迫力ある龍を描き入れた  
左／共布ケーブには蓮の花を描いた

ひらりと  
きれいでしょ

とろみのある正絹の着物地で  
ジャンプスーツ。ペプラム  
のように腰回りを優美に見せる  
デザインがユニーク